

評価アンケート実施報告

実施日程・調査方法

04年度の授業評価アンケートは春学期、秋学期の2回実施しました。アンケートは、春学期は7月22日に、秋学期は1月14日に学生の自宅宛に郵送され、郵送もしくは教務課回収箱に提出する方式を取りました。

アンケートはマークシート(シートA)と自由記述(シートB)の方式をとり、シートAでは授業ごとに「学生の出席状況」「授業に関する5項目の質問」「授業の問題点」について選択肢を設けました。シートBでは学生からの要望・意見を求めました。

また、回答者の授業評価が一定程度出席した上での判断であるかどうかを把握するために、出席状況を「24%以下」「ほぼ全回欠席」と回答した人に対し、低出席の理由を回答する選択肢を設けました。

実施状況

アンケートは履修登録をしている全学生を対象に行われました。回収数・回収率は表のとおりです。秋学期の回収率が低かった点は今後の検討課題とすべきでしょう。

	対象者数	回収数	回収率
春学期	8,576	3,687	42.99%
秋学期	8,426	2,013	23.89%

Q&A

アンケートの目的・集計方法・フィードバック等についての質問にお答えします。

Q1 このアンケートの目的は何ですか？

A1 授業改善は大学にとってもっとも重要な取り組みのひとつですが、それを個々の教員まかせにすることはできません。各学期ごとの授業改善の進捗状況を捉える全学的な共通指標を確立し、改善の努力を促進することがこのアンケートの目的です。

Q2 アンケート結果は授業にどのように活かされていますか？

A2 アンケート結果は各学期の採点終了後に開示され、図書館などで閲覧することができます(ただし自由記述欄については学生は閲覧することができません)。各教員は学生の授業全般に対する評価・感想・要望などを知ることによって、教育計画を修正し、次学期以降の授業改善に取り組みます。専任教員の休講数が2002年度の796件から昨年度の470件まで減少したことなどは、アンケートの端的な成果といえます。学生は、開示された情報を履修登録の参考にすることができます。

Q3 昨年度より大幅に制度が変更されましたが、変更内容と変更理由は何ですか？

A3 一昨年度まで実施されていた「授業改善アンケート」とは異なり、昨年度春学期からは、①アンケートを授業時間中にとるのではなく、登録科目がマークされたアンケート用紙を学生の自宅宛に郵送し、返送もしくは教務課窓口で回収する、②授業期間終了後に実施し、採点終了後に結果を発表する、という方式に改めました。

①によって、これまでアンケート記入のために出席するすべての授業で10数分から20分程度割愛していた時間が節約でき、自宅ですっきり考えて記入することができるようになりました。授業に出席していない学生もアンケートに参加できます。アンケート用紙を担当教員の前で記入せず教員が回収することもないので、公平性と匿名性が高まります。また、手渡しによる配布もれや用紙の紛失事故なども防ぐことができるようになりました。

②によって、アンケート結果が教員に報告されるのは成績が付与された後になりますので、担当

教員に批判的な意見を書いたら採点に影響しないだろうかという不安を感じる必要もありません。

Q4 アンケートはどのように集計されていますか？

A4 回収されたアンケートは、総合企画課で集約されその後マークシート部分の機械集計と自由記述欄の入力処理作業へ進みます。総合企画課での作業は、職員(臨時職員含む)が担当します。

Q5 匿名性は保たれていますか？

A5 処理のプロセスに教員は一切関与しないので、教員が原票を見ることはありません。教員にはシートA(アンケート項目欄)をコンピュータ処理した数値結果とシートB(自由記述欄)の自由記述のみが集計された上で渡されますので、個人を特定されるような情報は一切、教員には渡りません。さらに匿名性を高めるため昨年度秋学期より、自由記述をタイピングすることになりましたので、筆跡から記入者が判断される心配もありません。ただし自由記述欄の具体的な内容から判断されるような場合がありえますが、この点だけは自由記述である以上やむを得ません。大学としては各教員にアンケート結果を真摯かつ教育的に受け止めるべきことを徹底する

Q6 郵送でコストは高くなっていますか？

A6 現在の方式によって実施コストは大幅に削減されました。まず、従来の1科目1枚の方式を廃止し、履修科目すべてを一括して数枚の用紙に記入する形式に改めたことにより、処理枚数が大幅に減少し、データ処理のコストが削減されました。さらに、配布枚数が削減されたため郵送が可能となり、従来の配布回収のために要した膨大な実務とコストが削減されました。人件費などを勘案すると単純に比較できませんが、全体の実施費用は開発費を含めても4割以上の削減となります。

Q7 学生として、どのようにアンケートをとらえるべきですか？

A7 このアンケートは学生と教員のコミュニケーションの橋渡しをするものです。授業に対する不満や満足を表示するだけでなく、授業のどこを伸ばしどこを改善すべきかを考えるための材料となる建設的なコメントを受け止めます。教員は、それを受け止めた改善点を示すよう努力します。アンケートを通して、本当にいい授業とは何か、大学で何を学ぶべきかということもあわせて考えてみて下さい。

2004年度「学生による授業」

結果の報告

集計されたアンケート結果は科目ごと
に集計され、各教員に春学期は11月5日、
秋学期は3月30日に配布されました。学
生に尋ねた5つの質問項目について、全
体および出席状況別に選択数(率)を表
記し、これと同じ授業形態における「全
学平均」と比較できるようにしました。

また、「そう思う」1.5「ややそう
思う」0.5「あまりそう思わない」マ
イナス0.5「そう思わない」マイナス
1.5「わからない」0として評価指
数を算出し、同じ授業形態の全学平均と
比較表示させ、教員が自分の授業の評
価の位置付けを把握できるようにしてい
ます。自由記述欄については春学期につ
いては記入用紙をそのままコピーして教員
に渡していましたが、個人が特定され
るとの懸念の声が上がったことから、秋学
期からはタイプ打ちして渡しました。

今後の方針

授業評価アンケートにより、教員は学
生の授業に対する評価・感想・要望など
を知ることによって、教育計画を修正し
、教育方法の改善を図ることができま
す。アンケートは、教員が、学生との双方向
的なやりとりを通して、学生とともに授
業を作り上げ、学生の意見を採り入れな
がら授業の質や教育効果を高めていく手
段として、重要なものです。

実施初年度としての反省を踏まえ、今
後は自由記述内容の傾向を大学として分
析することも検討課題としながら、05年
度も改善点を修正しながら実施いたしま
すので、ご協力をお願いします。

2004年度「学生による授業評価アンケート」全体集計結果

2004年度「学生による授業評価アンケート」の授業形態別
(外国語・講義・演習・体育)の全学的な平均値を報告します。
授業形態別の科目数は右表のようになっています。

	開設科目総数	回答科目総数	講義	外国語	演習	体育	その他
春学期	1983	1973	821	838	256	48	10
秋学期	1975	1942	800	823	245	47	27

(注：外国語修得を目的とする科目でも、2単位の科目は講義科目としています)

1 授業形態別 出席状況 (全学平均)

単位 %

項目	選択肢	講義		外国語		演習		体育	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
		出席状況	100-75%	74.5	73.0	92.2	89.3	87.8	86.4
	74-50	12.4	12.6	4.2	6.2	6.8	7.7	6.5	9.5
	49-25	5.5	5.7	0.8	0.8	1.8	2.1	0.9	2.0
	24%以下	3.1	2.6	0.4	0.5	1.3	1.3	0.8	1.0
	ほぼ全回欠席	2.9	4.9	0.7	1.2	0.8	0.9	1.2	3.7
	不明(未記入)	2.0	1.8	2.1	2.3	2.2	1.9	1.6	1.5

2 授業形態別 低出席率理由 (全学平均)

単位 %

項目	選択肢	講義		外国語		演習		体育	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
		低出席率者	6.0	7.4	1.1	1.6	2.1	2.2	1.9
低出席率理由	授業内容に不満	19.9	23.0	27.6	38.8	7.0	16.7	26.7	31.6
	必修科目外	22.7	36.3	9.5	24.7	4.7	8.3	26.7	31.6
	アルバイト	8.7	14.4	12.4	8.2	7.0	8.3	6.7	15.8
	就職活動	45.6	22.3	22.9	17.6	55.8	54.2	13.3	15.8
	クラブ・サークル	5.0	3.0	1.9	3.5	9.3	12.5	6.7	10.5
	不明(未記入)	9.4	15.0	32.4	14.1	18.6	20.8	26.7	10.5

注1：低出席率者とは、出席状況「24%以下」「ほぼ全回欠席」を選択した人の率を指しますが、回答者の評価がその授業に一定程度出席した上での判断かどうかを把握するための作業上の基準であり、履修に必要な最低限の出席頻度を意味するものではありません。

注2：複数回答可。値は低出席者数における回答数で表したものです。

4 授業形態別 授業の問題 (全学平均)

単位 %

項目	選択肢	講義		外国語		演習		体育	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
		出席状況	テキストや教材が適切でない	4.3	4.3	5.7	6.7	2.5	3.2
	宿題・課題が適切でない	1.6	1.2	2.4	2.4	1.5	1.4	0.3	0.0
	板書が見えにくい	9.9	8.9	3.0	2.4	1.0	1.5	0.0	0.2
	教員の話が聞き取りにくい	9.5	8.5	5.2	3.8	1.2	1.0	1.4	1.7
	学生の私語が多い	8.2	7.2	1.8	2.6	0.7	0.9	0.8	1.2
	未揭示休講がある	0.3	0.6	0.3	0.8	0.2	0.5	0.3	0.2
	教員の遅刻・早退が多い	1.6	2.1	2.7	2.9	1.9	2.0	0.4	0.0
	その他	3.4	4.0	3.4	3.5	1.6	3.5	1.3	2.5

注：複数回答可。値は回収数に対する回答数で出したものです。

3 授業形態別 授業評価 (全学平均)

単位 %

項目	選択肢	講義		外国語		演習		体育	
		春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期	春学期	秋学期
		1. この授業の目標設定と内容は適切であった	そう思う	44.5	46.8	54.0	56.0	59.2	62.0
	ややそう思う	36.0	33.9	32.2	29.6	29.0	26.8	21.1	17.6
	あまりそう思わない	10.1	8.7	8.1	8.0	6.1	5.6	2.7	2.0
	そう思わない	3.4	3.2	2.7	3.2	2.0	1.9	0.5	1.0
	わからない	6.1	7.5	3.0	3.3	3.7	3.6	2.2	5.9
	評価指数(ポイント)	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.2	1.2
2. この授業の担当教員の説明はわかりやすかった	そう思う	36.1	39.0	48.3	51.7	57.3	63.0	64.0	69.8
	ややそう思う	34.4	32.6	33.0	30.6	30.5	27.2	24.4	17.8
	あまりそう思わない	16.5	15.1	11.8	10.2	7.3	5.0	5.4	4.2
	そう思わない	7.9	6.6	4.8	4.7	1.5	2.0	1.4	1.2
	わからない	5.2	6.7	2.2	2.7	3.4	2.8	4.8	6.9
	評価指数(ポイント)	0.5	0.6	0.8	0.8	1.0	1.0	1.0	1.1
3. この授業は知的関心・教養を高めたり、専門的知識・技能を身につける上で役立った	そう思う	40.0	43.4	48.8	51.3	63.0	68.5	62.4	61.1
	ややそう思う	35.8	33.7	33.8	30.9	25.7	22.8	25.1	22.8
	あまりそう思わない	13.7	11.5	11.4	11.0	6.3	4.6	6.1	6.7
	そう思わない	5.4	4.8	3.8	4.2	2.1	1.7	2.6	2.5
	わからない	5.1	6.6	2.2	2.6	3.0	2.4	3.8	6.9
	評価指数(ポイント)	0.6	0.7	0.8	0.8	1.0	1.1	1.0	1.0
4. この授業の難易度・進度は自分にあって適切であった	そう思う	32.3	35.5	41.9	45.0	49.7	56.4	68.4	70.5
	ややそう思う	36.6	35.1	35.3	33.2	31.5	27.8	19.2	16.6
	あまりそう思わない	16.9	14.9	14.1	13.2	11.1	8.8	6.7	5.4
	そう思わない	7.5	6.4	6.0	5.5	3.3	3.0	2.1	2.0
	わからない	6.7	8.1	2.8	3.0	4.5	4.0	3.6	5.4
	評価指数(ポイント)	0.5	0.5	0.6	0.7	0.8	0.9	1.1	1.1
5. この授業の担当教員は学生の質問や要望に答えた	そう思う	37.3	39.5	52.6	54.7	64.3	71.0	60.6	60.9
	ややそう思う	31.8	29.6	29.2	27.9	23.5	19.5	23.8	18.6
	あまりそう思わない	11.4	9.9	8.6	7.1	4.9	3.3	4.4	4.7
	そう思わない	4.8	4.5	3.1	3.4	1.6	1.6	1.8	2.7
	わからない	14.7	16.5	6.5	6.9	5.6	4.6	9.3	13.1
	評価指数(ポイント)	0.6	0.6	0.8	0.9	1.0	1.1	1.0	0.9

アンケート結果の分析(授業評価部分)

講義 春学期、秋学期ともにすべての評価指数で他の授業形態を下回った。〈担当教員の説明〉〈難易度・進捗〉などに対する不満が大きい。〈テキスト・教材〉に対する不満は外国語科目と比較して少なく、〈板書が見えにくい〉〈教員の話が聞き取りにくい〉〈学生の私語が多い〉などの問題が大きい。

外国語 〈授業の目標設定・内容〉〈担当教員の説明〉の評価指数は講義科目と比較して高い。しかし〈難易度・進捗〉の評価が他の指数と比較して低く、〈テキスト・教材〉に対する不満が比較的大きい。

演習 評価指数は全般的にかなり高い。8割以上の回答者が〈知的関心・教養、専門的知識・技能を身につける上で役立った〉と評価している。外国語と比べても〈テキスト・教材〉に対する不満は少ない。

体育 評価指数は全般的に高めで高い。すべての質問項目で8割前後から9割の回答者が〈そう思う〉〈ややそう思う〉と応えている。

授業評価アンケートへの質問・問合せなどは総合企画課(中央棟2階)、または s.kikaku@stf.dokkyo.ac.jp までお寄せください。